

平成24年度 奄美群島サンゴ礁保全対策協議会
サンゴ再生試験結果報告書

1. 調査内容

サンゴ礁再生に向けたサンゴ幼生着床試験

- (1) サンゴ幼生着床具へのサンゴ着床試験 (瀬戸内町実久)
- (2) サンゴ幼生着床具を用いた移植試験 (瀬戸内町油井→瀬戸内町実久)

2. 調査結果

(1) サンゴ幼生着床具へのサンゴ着床試験 (瀬戸内町実久沖)

2012年6月23日に瀬戸内町実久沖にサンゴ幼生着床具(再利用分120個)を設置し、着床状況を調査した。設置場所は実久集落西北西約2kmの砂浜約200m沖合の離礁上部で昨年設置した着床部架台に取り付けた。2012年9月13日に今年度設置分の120個を回収し、着床状況を調べた結果、稚サンゴの定着は1群体もみられなかった。2012年は、梅雨時期の大雨や夏期の台風により、着床具にシルトの堆積もみられたため着床は無かったと思われる。なお、同架台上の昨年度から設置したままの状態である着床具720個(120個×6ブロック)は、来年度移植試験に用いる予定である。

○調査日程

調査内容	調査地	調査日	
着床具設置	実久沖	2012年6月23日	水深3mに着床具120個設置
着床具一部回収	実久沖	2012年9月13日	着床具120個回収

○稚サンゴ着床数集計

	上面	側面	下面(溝)	下面	計	着床率
着床数	0	0	0	0	0	0.0%

(2) サンゴ幼生着床具を用いたサンゴ移植試験 (瀬戸内町油井→瀬戸内町実久)

油井沖に2010年6月8日設置した着床具を2013年2月12日に全て回収し、稚サンゴの定着がみられた着床具9個を実久沖へ移植した。移植した稚サンゴは、ハナヤサイサンゴ属5群体、ショウガサンゴ3群体、ミドリイシ属1群体の計9群体であった。来年度以降、生息状況をモニタリングしていきたい。

○調査日程

調査内容	調査地	調査日	
モニタリング	油井沖	2012年9月12日	2010年設置着床具モニタリング
着床具回収移植	油井実久	2013年2月12日	着床具全て回収、実久沖へ移植

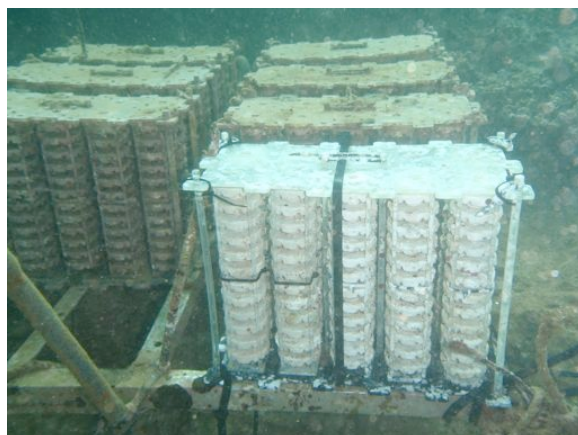
○移植サンゴ集計

	ハナヤサイサンゴ属	ショウガサンゴ	ミドリイシ属	その他	計
移植数	5	3	1	0	9

調査写真 1



着床具設置 実久沖 2012年6月23日



着床具1セット(120個)を設置



着床具120個回収 2012年9月13日



着床具周辺のサンゴ生育状況



回収した着床具120個 2012年9月13日



2011年設置着床具の稚サンゴ(来年度移植)

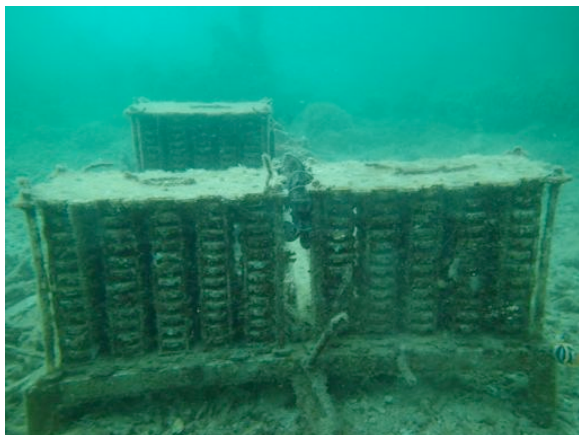


2011年設置着床具の稚サンゴ(来年度移植)



2011年設置着床具の稚サンゴ(来年度移植)

調査写真 2



モニタリング 2012年9月12日 油井



着床具の稚サンゴ 2012年9月12日 油井



着床具回収全 360 個 2013年2月12日 油井



サンゴ定着着床具 9 個 2013年2月12日



移植ハナヤサイサンゴ属 2013年2月12日



移植ミドリイシ属 2013年2月12日



移植ショウガサンゴ 2013年2月12日



移植ハナヤサイサンゴ属 2013年2月12日

調査写真 3



移植ハナヤサイサンゴ属 2013年2月12日



移植ハナヤサイサンゴ属 2013年2月12日



移植ハナヤサイサンゴ属 2013年2月12日



移植ショウガサンゴ 2013年2月12日



移植サンゴ 2013年2月12日 実久沖



移植サンゴ 2013年2月12日 実久沖